

第132号 令和7年6月30日
梵珠だより

発行／青森県立自然ふれあいセンター 〒038-1301 青森県青森市浪岡大字大釈迦字沢内沢1-1
 TEL 0172-62-4527 FAX 0172-62-8510 URL <http://www.bonju-furesen.info/> メールアドレス bonju@jomon.ne.jp

□ 行事レポート □

●梵珠の森・春のふれあいデー
 4月20日(土)・21日(日)



●新緑トレッキング～ブナ岱を経て梵珠山へ～
 5月11日(日)



●梵珠大滝トレッキング
 ～梵珠山から大滝を越え笹山へ～ 6月1日(日)



●梵珠山撮影登山

5月3日(土)



●梵珠山の写真展
 5月17日(土)～6月22日(日)



●初夏の花旅 in 高森山
 6月22日(日)



●コシアブラ

コシアブラは北海道から九州にかけての山地に自生する落葉広葉樹で、高さ10～20m程度になる。葉の形容はトチノキのように掌状（しようじょう）で、葉柄は30cmほどにもなろうか。

この樹木は一般の人々にはそれほど知られていないような気がするが、山菜採りの間では若芽が良質の山菜として扱われている。そんな表現をするのも私自身は未だコシアブラを食べたことがないからだ。コシアブラは山菜として盛んに栽培もされているタラノキと同じウコギ科に含まれ、食べる若芽の形が互いによく似ている。ただ、タラノキと違って幹や枝に棘がないため、山採りをしようと思えば、棘のないぶん簡単そうに見えるのだが、タラノキに比べると、野山に生えている量が少なく、誰もが簡単に手に入れることができない山菜とは言えないという。梵珠山でも量は多くないような気がする。

かつて、青森市の東に位置する東岳へ登ったときに、下山途中に出会った人から、山菜としてのコシアブラの講釈をお聞きしたことがあった。その方は、高さ3~4mのコシアブラの稚樹をスギ林やミズナラの雑木林の中で次々と見つけだしては、山菜にする新芽がついているかどうかを素早く判断していた。樹皮が

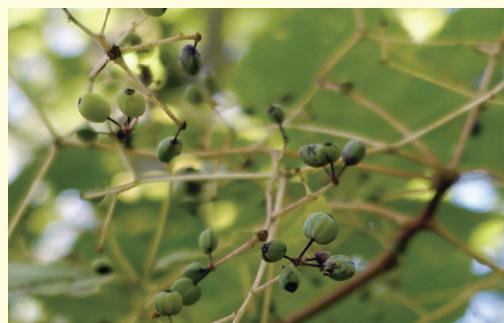


コシアブラの花序（まだほとんど蕾である） (2024年8月11日)

白く、ひょろっとしている樹形を識別の観点にしているような様子だった。

コシアブラの葉や花の変化を春先から晩秋にかけて追うと、短期間に葉を広げ花を咲かせて果実を実らせる他の樹木とは違った展開である。冬芽は5月中旬～下旬にかけてほころびはじめ、6月上旬には掌状の葉をすっかり広げているが、花序の気配はほぼない。そして、8月中旬～下旬にかけて、ようやく淡黄緑色の5弁の小さな花を散らばすように沢山咲かせる。花の後には長さ6mmほどの、ややへん平で球形の果実を作るようになり、10月中旬～11月上旬にかけて黒紫色の果実を熟させる。そんな変化は、興味深いことに、タラノキとほとんど同じである。

葉に関しては秋の紅葉期の変化が面白い。紅葉というと緑色だった葉が赤色や黄色などに色づくことを連想するが、コシアブラの葉は他の樹木の艶やかな変化とはまったく異なり、次第に緑色を失い、最後にはすっかり白っぽくなってしまう。果実の生産量は咲かせた花の量に比べそれほど多くないようで、また、毎年花を咲かせるか否も個体によりかなりの差があるような気がしている。



黒紫の果実になるにはもう少し時間がかかるようだ
(2024年10月5日)

●ミズバショウ [水芭蕉] サトイモ科

長尾 キヨ (津軽植物の会)

湿原の白い王子たちといわれ、春一番雪解けと同時に花が咲く。梵珠山では4月初めにミズバショウの道入り口の湿原に群生する。純白で大きなつぼみにつつまれて一面に咲いている仏炎苞の姿は何回見てもみごとであり雄大といえる。花柄は苞の基部で包まれ、花のように見える白い仏炎苞は広楕円形で棒状の花序を包む。花は両性花被片は4

開花している間は葉がまだそれほど大きくはありませんが、花が終わるとその葉は80cm程になり、牛の舌（ベコノシタ）ともよばれる。この大型の葉が、茎の高さ5mにもなる中国原産のバショウ科の植物を思わせてるのでミズバショウと名付けられたのである。



ミズバショウ



オチクラミズバショウ

生物暦 (2024年)			8月		天気			植物		野鳥		動物		昆虫		は虫類・両生類															
日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
曜	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
観察できたもの	ハクウンラン・トチバニンジン	ミニンミニゼミ・オオイタドリ	オニシロタケ・クサギ	ニホントカゲ	アカアシクワガタ	コクワガタ	ルリタテハ・ルリボシヤンマ	ノシメントボ・アフラゼミ	ヤブコウジ・スジクワガタ	ヤブキリ・ニホントカゲ	ノシメンボ・オニヤンマ	ツリフネネウ・シユレー・ゲルアオガエル	ホツツジ・マユタテアカネ	ヤブキリ・ヤマカガシ	カブトムシ・アオバト	ツルリンドウ・シオヤトンボ	ヒルガオ・ツバメシジミ	ルリシジミ・ニホンザル	ヤマジノホトトギス・オオミズアオ	ホンドテン・アナグマ	ホンドテン・アナグマ	ホオジロ・モリアオガエル	ホオジロ・モリアオガエル	キバナアキギリ・タガガエル	タカネトンボ・クロサンショウウオ	オオアカゲラ	キツリフネ・ヒメマイマイカブリ	ミヤマクワガタ・クマタカ	ジャコウソウ・カワラナデシコ	エゾスジ・ルリシジミ	
天	☀	☀	☀	☀	☁	☀	☀	☁	☀	☁	☀	☁	☀	☁	☀	☁	☀	☀	☀	☀	☁	☀	☁	☀	☀	☀	☁	☀	☁	☀	☁

●イチモンジチョウ タテハチョウ科

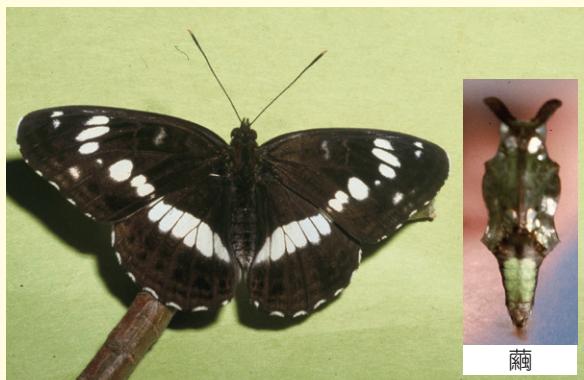
鳴海 富美子（津軽昆虫同好会）

黒字に鮮やかな一文字模様を持つタテハチョウの仲間で、前翅から後翅を通り、反対側の前肢まで並んでいる白斑が一直線に見えることから名付けられたようだが、私には一文字と言うよりVの字に見える。北海道から九州まで分布する普通種で、川の近くの林や草原に生息していて、草花や低木の上等を活発に飛びなかなか静止しない。食草はスイカズラ科のタニウツギ等で幼虫で越冬する。幼虫の色彩は濃緑色で、全体に白い小さな点が見られ、背中には棘状の突起がある。タテハチョウ科の幼虫は毛虫型であるが毒は持っていない。また刺されることもない。

林の中などを歩いていると、背中に白い繭をたくさん付けたイチモンジチョウの幼虫を見かけることがある。これは主にコマユバチという寄生バチがチョウの幼虫に産卵管を刺して卵を産みつけたもので、チョウの体から

養分を取って成長し、やがて皮膚を食い破つて外へと体を乗り出して繭を作る。ハチの幼虫はその中で蛹になる。やがて成虫となった寄生バチが出てくるとチョウの幼虫は蛹になれないまま死んでしまう。繭を付けた幼虫は生きたまま餌となるのである。白い繭をたくさん付けた幼虫を見かけるたびにやがて訪れる運命を思うと胸が痛む。寄生バチに寄生された昆虫はよく見られ、昆虫の数を調整する役割を果たしていると言われている。

蛹は2cm位でとてもユニークな形態をしている。頭に1対の角があり、目の位置は銀色に光っていて、背中には大きな瘤がある。色彩は黄緑色で黒褐色と銀白色を装う。この特異な形態と色彩はかえって目立ってしまうと思われるのだが。いづれにしても幼虫の数に比べ蛹の数はかなり少くなり、さらに成虫にまでなれるのは極めて少ないのである。



イチキンジチョウ



幼虫

生物暦 (2024年)							9月		天気							植物		野鳥		動物		昆虫		は虫類・両生類						
日曜	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日
観察できたもの	ニホンカモシカ・アオイトントボ	オオカマキリ・ミンミンゼミ	ホツヅ・ミンミンゼミ	オニヤンマ	アキギンロウソウ・クチベニタケ	ウスバシロチョウ・ノコギリクワガタ	エナガ・オクトリカブト	モモンガ・クマタカ	ゲンノショウゴ・カラスアゲハ	キクガシラコウモリ・キジバト	シロバナツリフネソウ・クマタカ	アオモリアザミ・ノシメントンボ	オオアキノキリンソウ・キジバト	メスグロヒョウモン・オオアカゲラ	アナグマ・トラッグミ・チコハヤブサ	ヒメモチ・ツチアケビ・クマタカ	オニヤンマ・シロオニタケ	ニホンリス	キジバト・キセキレイ	オニヤンマ・モクズガニ	ノシメントンボ・モクズガニ	キジバト	オオカマキリ・アカゲラ	クマタカ・ノコングイク	二ホンザル・カエンタケ	サラシナショウマ・ヤマガラ	カワガラス・ツキノワグマ	キクガシラコウモリ・ナカヘビ	ヤマカガシ・コウモリタケ	ヒメネズミ
天	晴	雨	曇	晴	晴	雨	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨
1	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	
2	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	
3	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	
4	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
5	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
6	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
7	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
8	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
9	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
10	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
11	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
12	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
13	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
14	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
15	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
16	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
17	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
18	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
19	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
20	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
21	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
22	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
23	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
24	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
25	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
26	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
27	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
28	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
29	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
30	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金